

## 第2章

佐賀県の歴史  
【No.1】

# 縄文く古墳時代

遺跡は、昔の人々の暮らしや出来事を教えてくれます。大陸に近い佐賀県にある、原始・古代の遺跡の中には、大陸文化の窓口だったことによる影響を受けたものもあります。

### □約8000年前の縄文人の暮らしが分かる

ひがしみよう い せき  
東名遺跡(国指定史跡)



(佐賀市教育委員会 提供)



かいづか  
貝塚の断面

縄文人が捨てた貝がらが積み重なっています。貝塚の断面を見れば、どの年代に、どんな貝を食べていたかが分かります。

### 東名遺跡復元画(画：早川和子)

有明海の大きな入り江付近にあった東名遺跡(佐賀市金立町千布)は、今から約8000年前の縄文時代早期の遺跡です。当時の人々は、木の実を主食にして、シカやイノシシなどの大型哺乳類や魚介類も食べていました。

### 見どころスポット

#### 東名縄文館

住所：佐賀市金立町千布(巨勢川調整池内)  
電話：0952-40-7368  
(佐賀市教育委員会文化振興課)  
開館時間：10時～16時  
休館：毎週月曜日  
(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)  
料金：無料



出土した高さ88cmの編みかご(左)とその復元品(右)

(佐賀市教育委員会 蔵)

### 編みかご

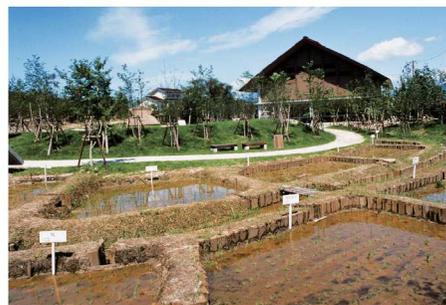
日本最古の編みかごが、破片も含めて700点以上も出土しました。物を運んだり、保存したり、用途に合わせて、かごの形や編み方を工夫していました。装飾的にも優れ、美術品としての価値も高いといわれています。

調べてみよう!

東名遺跡に数多くの遺物が残っているのはどうしてかな?



### なばたけ い せき □菜畑遺跡は日本最古の水田跡(国指定史跡)



(唐津市教育委員会 提供)

### 菜畑遺跡復元水田

約2600年前の縄文時代晩期に、大陸から伝えられた稲作を行った菜畑遺跡(唐津市菜畑)。国内最古の水田遺構のほか、狩猟や採集といった縄文文化の痕跡も見つかり、縄文から弥生へと時代が移り変わる時期の解明に大きな手がかりを残しています。



(唐津市教育委員会 蔵)



(唐津市教育委員会 蔵)

### 出土した石包丁

稲の穂を摘み取る道具です。その他、木製農具や漁具、動物の骨や植物の種子なども発見されています。

日本最古の鎌  
(唐津市教育委員会 蔵)



### 出土した当時の米

日本で最も古い米で、長い時間をかけて炭のように真っ黒になっています。

### 見どころスポット

#### まつるかん 未慮館

住所：唐津市菜畑 3359-2  
電話：0955-73-3673  
開館時間：9時～17時  
休館：毎週月曜日、年末年始  
料金：一般 210円 小・中学生 100円



佐賀県の概要  
第1章

佐賀県の歴史  
第2章

佐賀県の人物  
第3章

佐賀県の文化  
第4章

佐賀県の自然  
第5章

佐賀県の産業  
第6章

佐賀県の食文化  
第7章

第1章  
佐賀県の概要

第2章  
佐賀県の歴史

第3章  
佐賀県の人物

第4章  
佐賀県の文化

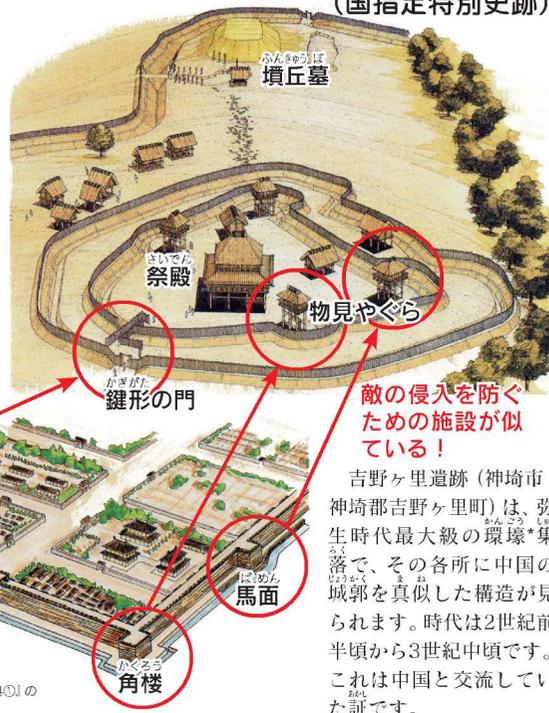
第5章  
佐賀県の自然

第6章  
佐賀県の産業

第7章  
佐賀県の食文化

## 大陸との交流で発展した吉野ヶ里遺跡 (国指定特別史跡)

吉野ヶ里北内郭  
(弥生時代後期)  
佐賀県教育委員会「佐賀県吉野ヶ里遺跡  
(2008年)」を参考に作成  
(建設省「建物等復元検討調査報告書」)



入口の構造が似ている!

鍵形の門

敵の侵入を防ぐための施設が似ている!

吉野ヶ里遺跡(神崎市・神埼郡吉野ヶ里町)は、弥生時代最大級の環壕\*集落で、その各所に中国の城郭を真似た構造が見られます。時代は2世紀前半頃から3世紀中頃です。これは中国と交流していた証です。

中国古代城郭  
(戦国～三国時代)  
佐賀県教育委員会「佐賀県吉野ヶ里遺跡  
(2008年)」を参考に作成  
(原図: 来村多加史編『戦略戦術兵器事典①』の「城郭の防衛施設」)



外壕発掘風景



北墳丘墓

吉野ヶ里集落の歴代の王が埋葬されている特別な墓と考えられています。発掘調査で、14基の甕棺墓が発見されました。このうち8基の甕棺から銅剣やガラス製の管玉など、高い身分を示す副葬品が出土しました。時代は紀元前2世紀頃です。

### 見どころスポット

#### 吉野ヶ里歴史公園

住所: 神埼郡吉野ヶ里町田手 1843  
電話: 0952-55-9333  
開園時間: 9月～5月 9時～17時  
6月～8月 9時～18時  
休園: 12月31日、1月の第3日曜日とその翌日  
料金: 大人 460円 中学生以下は無料



\*これまでの調査により、吉野ヶ里遺跡の「濠」には水が張られていた痕跡が認められないため「壕」と表記しています。

## 佐賀県の主な古墳の分布



◎青字は国指定  
◎赤字は県指定  
◎数字は指定された順

(「佐賀県のすがた」を参考に作成)

### 【国・県指定史跡】

- ①田代太田古墳(鳥栖市田代本町)
- ②谷口古墳(唐津市浜玉町)
- ③横田下古墳(唐津市浜玉町)
- ④西隈古墳(佐賀市金立町)
- ⑤銚子塚古墳(佐賀市金立町)
- ⑥船塚(佐賀市大和町)
- ⑦伊勢塚(神埼市神埼町)
- ⑧関行丸古墳(佐賀市久保泉町)
- ⑨島田塚(唐津市鏡)
- ⑩姫方遺跡 雌塚、方形周溝溝、環状列石土城墓(三養基郡みやき町)
- ⑪刺塚(鳥栖市田代本町)
- ⑫庚申堂塚(鳥栖市神辺町)
- ⑬小島古墳(伊万里市山代町)
- ⑭姫塚(小城市三日月町)
- ⑮龍王崎古墳群(杵島郡白石町)
- ⑯鬼塚(鹿島市大字納富分)
- ⑰瀬見古墳(武雄市橘町)
- ⑱矢ノ浦古墳(武雄市武雄町)
- ⑲赤坂古墳(鳥栖市永吉町)
- ⑳姫前方後円墳(三養基郡みやき町)
- ㉑玉島古墳(武雄市橘町)
- ㉒茶筌塚古墳(小城市小城市町)
- ㉓高柳大塚(三養基郡みやき町)
- ㉔権現山前方後円墳及び二号墳(円墳)(小城市三日月町)
- ㉕円山古墳(小城市三日月町)
- ㉖多蛇古墳(一号墳)(武雄市朝日町)
- ㉗妻山古墳群四号墳(杵島郡白石町)
- ㉘小隈山古墳(佐賀市大和町)
- ㉙道祖谷古墳(杵島郡白石町)
- ㉚瓢塚古墳(唐津市呼子町)
- ㉛久里双水古墳(唐津市双水)



船塚古墳(佐賀市大和町)

### 船塚古墳(佐賀市大和町)

5世紀前半に築かれた全長114mの前方後円墳。県内で一番大きい古墳です。



田代太田古墳の壁画復元模写図(鳥栖市教育委員会提供)

### 田代太田古墳(鳥栖市田代本町)

6世紀後半に築かれた直径約40m、高さ約6mの装飾古墳です。

※現在、一般公開は行われていません。

第1章  
佐賀県の概要

第2章  
佐賀県の歴史

第3章  
佐賀県の人物

第4章  
佐賀県の文化

第5章  
佐賀県の自然

第6章  
佐賀県の産業

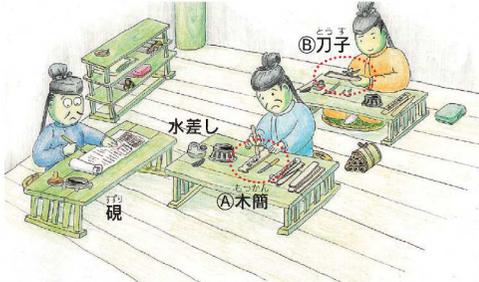
第7章  
佐賀県の食文化



重要な施設は官道沿いに整備



- ① 肥前国分寺跡 } 奈良時代、聖武天皇によって国ごとに国分寺・国分尼寺が建てられました。
  - ② 肥前国分尼寺跡
  - ③ 官道跡（西海道） 官道とは都と地方を最短距離で結んだ道のこと。西海道は、大宰府から肥前国府につながっていました。
- ※地図上の赤い線が当時の官道です。



奈良・平安時代の役所の仕事風景（想像図）

- ①紙は貴重品で、重要書類以外は木簡（木の札に文字を書いたもの）を用いていました。
- ②書き損じは刀子と呼ばれる小刀で薄く削りました。

（佐賀市教育委員会提供資料の一部を改変 原画：松本隆昌氏）

ひぜんくにふどき まんようしゅう  
□『肥前国風土記』と『万葉集』に記された佐賀の姿



日の隈山

古代には、敵の侵入などを知らせる通信手段として、のろしを上げて合図をおくる烽火各地に整備されました。『肥前国風土記』には、烽火が20カ所と記されており、その一つが日の隈山（神崎市）と考えられています。



きしまやま うたがき  
杵島山と歌垣

『肥前国風土記』に、杵島山で「歌垣」が行われていたことが記されています。杵島山は、この地域の若者たちが集まって、歌い踊る社交の場でした。



かしわじま  
神集島

唐津湾の入り口に浮かぶか神集島は、風待ちの港でした。大陸に向かう船は、この島に立ち寄り、船出に適した風を待ってから玄界灘に出ました。島には7基の歌碑があります。



（唐津観光協会 提供）

見どころスポット

基肄城跡

基肄城跡には、歩いて史跡めぐりを楽しめるコースが整備され、山頂西側には草スキー場もあります。

肥前国庁跡資料館

住所：佐賀市大和町久池井 2754  
電話：0952-62-7441  
開館：9時～16時30分  
休館：毎週月曜日（ただし当日が祝日のときは火曜日）  
祝日の翌日（ただし当日が土曜日・日曜日のときは休館しません）  
年末年始  
料金：無料



（唐津観光協会 提供）

万葉の里公園

『万葉集』に収録された肥前国に関する歌の舞台は、ほとんどが唐津地方です。この地は朝鮮半島や中国大陸に近く、国防の最前線でもあったため、大宰府の長官だった大伴旅人は、軍事視察の目的もあってここを訪れ、その際、和歌を詠みました。

見どころスポット

万葉の里公園

住所：唐津市浜玉町浜崎 1901-389  
電話：0955-72-9250  
（都市整備部 都市計画課 公園管理係）



調べてみよう!

『肥前国風土記』には、どんなことが書かれているんだろう?



見どころスポット

基肄城跡

基肄城跡には、歩いて史跡めぐりを楽しめるコースが整備され、山頂西側には草スキー場もあります。

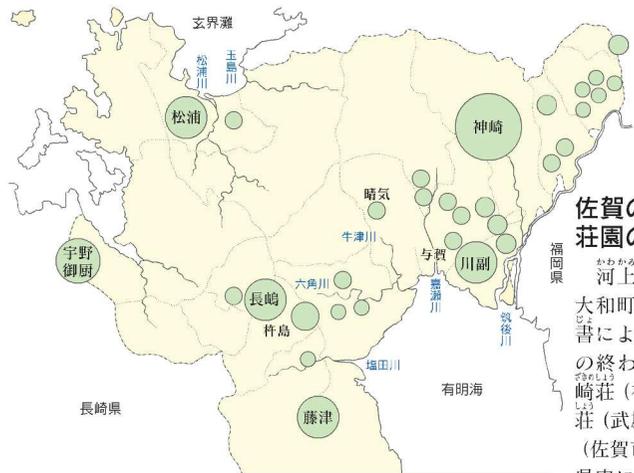
肥前国庁跡資料館

住所：佐賀市大和町久池井 2754  
電話：0952-62-7441  
開館：9時～16時30分  
休館：毎週月曜日（ただし当日が祝日のときは火曜日）  
祝日の翌日（ただし当日が土曜日・日曜日のときは休館しません）  
年末年始  
料金：無料



鎌倉時代の御家人たちの活動や、戦国時代に勢力争いを繰り広げ、天下統一を目指した武将たちの活躍をみましょう。

## 佐賀の荘園の広がり



**佐賀の主な荘園の分布**  
河上神社(佐賀市大和町)に残る古文書によれば、13世紀の終わり頃には、神崎荘(神崎市)、長嶋荘(武雄市)、川副荘(佐賀市)など、佐賀県内に大きな荘園がありました。

### 日宋貿易でもたらされた陶磁器

平安時代末期には、日宋貿易の拠点だった神崎荘。吉野ヶ里町の下中杖遺跡からは、日宋貿易でもたらされた、唐の終わり頃から宋時代の陶磁器が出土しています。



(佐賀県立博物館蔵)

### 「河上宮造管用途支配惣田数注文」

「河上神社文書」中の「河上宮造管用途支配惣田数注文」に、肥前国内の荘園の名前と、その面積が記されています。



(興止日女神社蔵、寄託先：佐賀県立図書館)

広さナンバー1の荘園は「神崎荘」!

皇室の荘園として栄えた神崎荘の広さは3000町で、その範囲は、現在の神崎市、吉野ヶ里町、上峰町、みやき町の一部にまで及びます。肥前国内で最大の広さで、平安時代末期には、日宋貿易の拠点でした。

調べてみよう!

地域に残っている鎌倉時代の文化財を調べてみよう

## 元寇における佐賀の武士たちの活躍

### 「蒙古襲来絵詞」模本

元の皇帝フビライの命令で、元軍が北部九州に2度襲来しました。特に伊万里・唐津地域は大陸に最も近いため、元軍の軍船が目の前まで押し寄せた場所でした。日本軍は白石六郎通泰をはじめ、佐賀の御家人や松浦党の武士たちが活躍しました。



(佐賀県立高麗歴史博物館蔵)

元寇防塁姪浜地区「脇地区」  
(福岡市提供)

博多付近石築地配置図及び築造の分担国名

各国の御家人が担当した地区



『歴史資料集(佐賀県版)』を参考に作成

### 元寇防塁

元軍が再び襲ってくることに備えて、博多湾沿岸、東西20kmにわたって石築地(石垣)を築造。佐賀の御家人は姪浜地区を担当しました。

海に生きる武士団「松浦党」

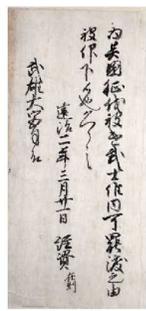
現在の伊万里市から長崎県の五島列島にかけて成立した、宇野御厨と呼ばれる荘園などで活躍していた武士たちの集まりが松浦党です。海に生きる武士団として、元軍との戦いに参戦し、私貿易も行っていました。

■松浦党ゆかりの山ノ寺遺跡(伊万里市)  
(伊万里市教育委員会提供)

調べてみよう!

日本の武士たちが驚いた、元軍の戦法とはなんだろう?

「武雄神社文書」中の「少武経資書状案」。1回目の元寇の後、御家人の武雄神社大宮司に対して元軍制圧のための海外出兵の命令が出されました。



(武雄神社蔵、寄託先：佐賀県立図書館)

佐賀県の概要

第1章

佐賀県の歴史

第2章

佐賀県の人物

第3章

佐賀県の文化

第4章

佐賀県の自然

第5章

佐賀県の産業

第6章

佐賀県の食文化

第7章

佐賀県の概要  
第1章

佐賀県の歴史  
第2章

佐賀県の人物  
第3章

佐賀県の文化  
第4章

佐賀県の自然  
第5章

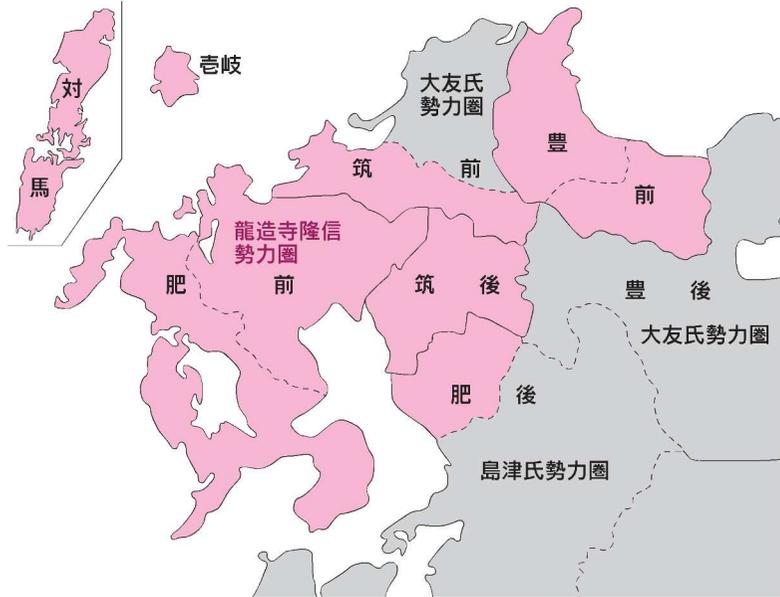
佐賀県の産業  
第6章

佐賀県の食文化  
第7章

九州三強の一人、龍造寺隆信

りゅうぞう じ たかのぶ

龍造寺隆信全盛期の勢力圏



〔『佐賀市史』第1巻を参考に作成〕

16世紀後半の九州で、勢力を拡大した龍造寺隆信。なかでも、豊後を本拠とする大友氏、薩摩を本拠とする島津氏とともに、「九州三強」に名を連ねていました。肥前・肥後・筑前・筑後・豊前の五ヶ国と、壱岐・対馬の二島に支配・影響を及ぼしました。



〔佐賀市 宗廟寺 蔵、寄託先：佐賀県立博物館〕

龍造寺隆信像（部分）  
（佐賀県重要文化財）

龍造寺隆信 1529（享禄2）年～  
1584（天正12）年

調べてみよう！

地域に残っている戦国時代の遺跡や戦いの伝承を調べてみよう。



見どころスポット

佐賀県立名護屋城博物館

住所：唐津市鎮西町名護屋 1931-3  
電話：0955-82-4905  
開館時間：9時～17時  
休館：月曜日  
料金：無料（特別企画展は有料）



全国各地から戦国大名が集結した名護屋城

なごやじょう

名護屋城跡とその周辺の陣跡

（国指定特別史跡）



〔佐賀県立名護屋城博物館 提供〕

名護屋城は大陸侵略への拠点として、豊臣秀吉が唐津市鎮西町に築きました。全国から約160の大名と、生活物資や軍事物資を持った商人たちも集結し、巨大な城下町ができました。

城周辺の様子を描いた  
「肥前名護屋城図屏風」をクローズアップ  
（佐賀県重要文化財）



■にぎわう城下の町屋  
（佐賀県立名護屋城博物館 蔵）  
■立派な五層の天守閣  
（佐賀県立名護屋城博物館 蔵）



〔佐賀県立名護屋城博物館 蔵〕

豊臣秀吉像 1537（天文6）年～  
1598（慶長3）年



〔佐賀県立名護屋城博物館 提供〕

ゲーム感覚で楽しめる「バーチャル名護屋城」

佐賀県立名護屋城博物館でバーチャルリアリティ（VR）を体験！430年前の名護屋城が目の前によみがえります。

佐賀県の概要  
第1章

佐賀県の歴史  
第2章

佐賀県の人物  
第3章

佐賀県の文化  
第4章

佐賀県の自然  
第5章

佐賀県の産業  
第6章

佐賀県の食文化  
第7章

# 第2章

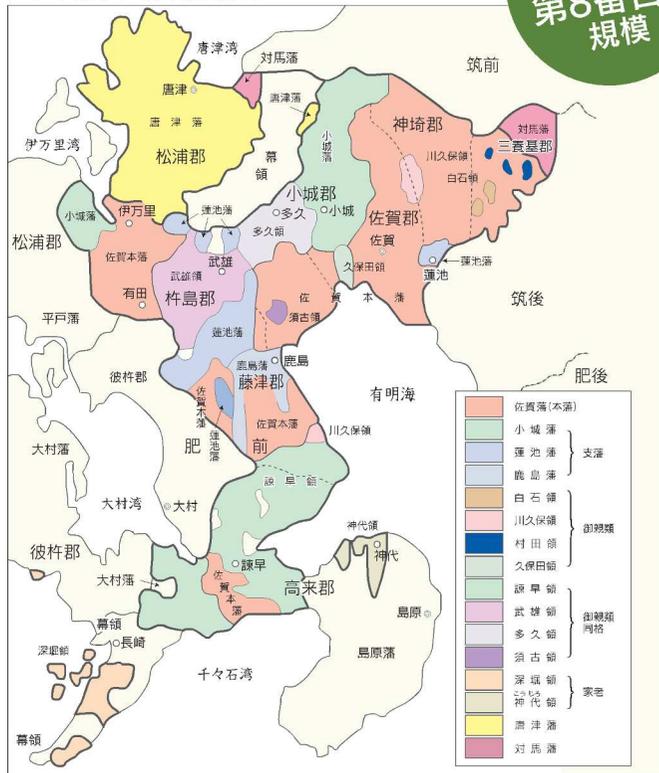
佐賀県の歴史  
【No.4】

# 江戸時代

江戸時代には、幕府と藩が領地とその地域の人々を支配する幕藩体制が成立しました。現在の佐賀県には、佐賀藩や唐津藩、幕領や対馬藩の一部がありました。

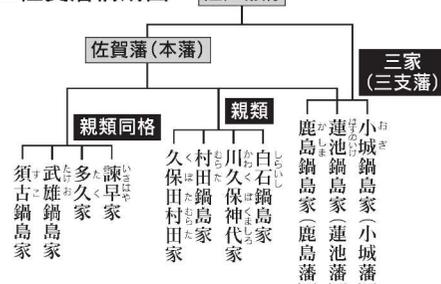
## □佐賀における幕藩体制

江戸時代末頃の藩領図



藩領図  
(吉川弘文館「佐賀藩」を参考に作成)

### 佐賀藩構成図



幕領とは幕府が直接支配する領地のこと。

対馬藩(現在の長崎県対馬市)の飛び地が、現在の基山町と鳥栖市東部付近(田代領)と唐津市浜玉町浜崎付近(浜崎領)にありました。

## 佐賀本藩の他に、小城・蓮池・鹿島の三支藩が成立



初代藩主鍋島勝茂像  
1580(天正8)年～  
1657(明暦3)年

龍造寺家に代わって、鍋島家が治めることになった佐賀藩は、本藩の他に三つの支藩(小城藩・蓮池藩・鹿島藩)をつくりました。旧龍造寺系の家臣に対して、鍋島一門を強化するのが目的でした。

本藩藩主と三支藩藩主の関係は親子

鍋島勝茂の長男・元茂(小城藩)、三男・直澄(蓮池藩)、五男・直朝(鹿島藩)が三支藩の藩主をつとめました。



(白石町教育委員会 提供)

### 秀林寺猫塚(白石町)

佐賀の伝説のなかに、龍造寺家から鍋島家への政権交代がモチーフになった「佐賀の化け猫話」があります。秀林寺には、化け猫の霊を供養するための猫塚があります。

## 短期間で藩主が交代した唐津藩



(唐津市教育委員会 蔵)

### 唐津城下俯瞰図/長谷川雪壩作

唐津藩は初代藩主の寺沢家が2代で断絶した後、徳川幕府の譜代大名が代々藩主になりました。なかには、後に幕府老中として天保の改革を行った水野忠邦もいます。

◎唐津藩…譜代大名が藩主をつとめる ◎佐賀藩…譜代大名の鍋島氏が藩主をつとめる

### 唐津藩の歴代藩主の6家

寺沢家(2代)	1593(文禄2)年～ 1647(正保4)年
幕領	1648(慶安元)年
大久保家(2代)	1649(慶安2)年～ 1678(延宝6)年
松平家(3代)	1678(延宝6)年～ 1691(元禄4)年
土井家(4代)	1691(元禄4)年～ 1762(宝暦12)年
水野家(4代)	1762(宝暦12)年～ 1817(文化14)年
小笠原家(5代)	1817(文化14)年～ 1869(明治2)年

調べてみよう!

唐津藩で起こった「虹の松原一揆」とはどんな事件だったのかな?



## 見どころスポット

### 唐津城

住所: 唐津市東城内 8-1  
電話: 0955-72-5697  
開館時間: 9時～17時  
休館: 12月29日～12月31日  
料金: <天守閣観覧料>  
一般(15歳以上) 1人500円、  
小・中学生 1人250円



17歳(数え年)で佐賀藩の10代藩主になった鍋島直正は、さまざまな改革を行いました。

### □幕末佐賀藩の大改革

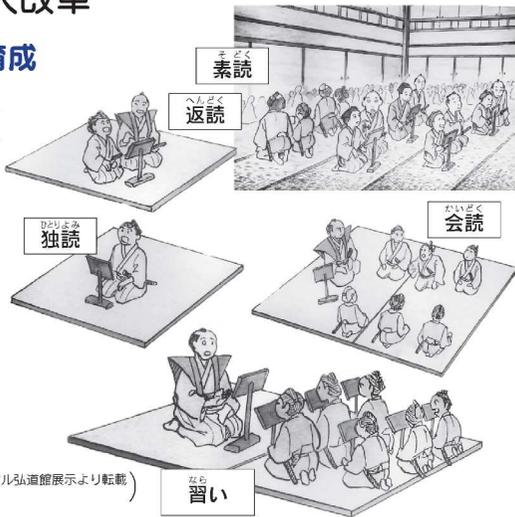
#### 次代を担う人材を育成

藩校「弘道館」を拡張。大隈重信や江藤新平など多くの人たちがここで学びました。

#### ■その他、佐賀藩内の教育機関

- 東原庫舎(多久領)
- 身教館(武雄領)
- 興讓館(小城藩)
- 成章館(蓮池藩)
- 弘文館(鹿島藩)
- 思斉館(久保田領)
- 三近堂(須古領)
- 知方館(川久保領)など

(肥前さが幕末維新博覧会リアル弘道館展示より転載)  
イラスト：青島太郎氏



斉正(直正)公 蘭船ゲデー号訪問図 (公益財団法人 鍋島報効会 蔵)

#### 他藩に先駆けて熱心に取り入れた西洋文明

1855(安政2)年、鍋島直正は、長崎に来港したオランダの蒸気船ヘデー(ゲデー)号に乗り込み、船内を見学しました。

#### 直正公嗣子淳一郎君種痘之図

佐賀藩は西洋医学を積極的に導入。1849(嘉永2)年、当時4歳(数え年)だった直正の子淳一郎に天然痘のワクチンを接種(種痘)しました。これが、種痘が全国に普及するきっかけになりました。



(佐賀県医療センター 好生館 蔵)

#### 最新最強の軍事力で長崎警備を強化



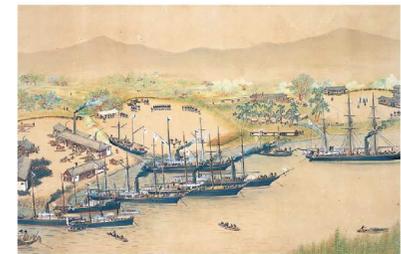
#### 佐賀藩築地反射炉絵図(部分)

オランダの原書を読み解いて、一度に大量の鉄を溶かすことのできる反射炉を築き、日本で初めて西洋式の鉄製大砲をつくりました。

(公益財団法人 鍋島報効会 蔵)



(佐賀県観光連盟 提供)



(公益財団法人 鍋島報効会 蔵)

#### 築地反射炉跡

現在の日新小学校(佐賀市長瀬町)付近に築地反射炉が築かれたと考えられ、校庭内に反射炉や大砲の模型が設置されています。

#### 三重津海軍所之図(部分)

三重津海軍所では、洋式船などを操船する海軍の訓練が行われ、ここで、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られました。三重津海軍所跡は、世界遺産に登録されています。

読んでみよう!

マンガで読む『鍋島直正』学校の図書館にもあるよ!



(文化・観光局 提供)



#### 見どころスポット

##### 佐賀県立 佐賀城本丸歴史館

住所：佐賀市城内 2-18-1  
電話：0952-41-7550  
開館時間：9時30分～18時  
休館：年末(12月29日～1月1日)  
料金：無料



幕末から明治は、社会が大きく変わった激動の時代。文明開化の名のもとに、近代化が進む日本の国づくりを佐賀県の人たちや産業が支えました。

### □明治政府で活躍した佐賀県の人たち

**鍋島直正** 1814(文化11)年～1871(明治4)年  
17歳(満15歳)で佐賀藩主となり教育改革と西洋科学技術の導入を推進。幕末から明治にかけて佐賀藩と数多くの人材の飛躍を導いた名君。

**島義勇** 1822(文政5)年～1874(明治7)年  
1869(明治2)年、明治政府から開拓判官に命じられ、北海道の札幌に「五洲第一の都」(世界一の都)を造るといふ壮大な構想を描き、「北海道開拓の父」と称される。

**佐野常民** 1822(文政5)年～1902(明治35)年  
三重津海軍所で日本初の実用蒸気船「凌風丸」の建造に尽力。その後、博愛社(今の日本赤十字社)を創設し、明治政府では大蔵卿(今の財務大臣)などの要職を歴任。

**副島種臣** 1828(文政11)年～1905(明治38)年  
外務卿(今の外務大臣)を務め、1872(明治5)年のマリア・ルス号事件で活躍し、「正義の人」として国際的な評価を得る。書家としても名高い。

**大木喬任** 1832(天保3)年～1899(明治32)年  
初代文部卿(今の文部科学大臣)として全国に小学校を設置するなど近代教育の基礎を築いたほか、司法卿(今の法務大臣)として、民法や刑法の制定にも尽力。

**江藤新平** 1834(天保5)年～1874(明治7)年  
初代司法卿として、国民の権利を守るための公平で民主的な裁判制度の確立や三権分立、四民平等、全ての国民に教育の機会を与える制度の提言など、現在にまでつながる日本の骨格を築いた。

**大隈重信** 1838(天保9)年～1922(大正11)年  
大蔵卿や外務卿など要職を歴任。佐賀県出身者初の総理大臣となり2度目の総理大臣も務める。鉄道の敷設や早稲田大学の創設者としても有名。



(古川英文氏 提供)

#### 北海道神宮の 島義勇像

北海道開拓の父として、北海道神宮と札幌市役所に銅像が、札幌市の円山公園には顕彰碑が建てられています。



(神奈川県立図書館 蔵)

#### 副島種臣宛大旆 (縦333cm×横187cm)

副島種臣がマリア・ルス号事件の後、清国から贈られた感謝の旗です。



#### 明治時代の学校の様子 「小学入門教授図解 第七」

大木喬任は、身分に関係なく国民全てが教育を受けられる仕組みを作りました。

(国立教育政策研究所教育図書館 蔵)

### 他県の初代の長官(県令・権令)に就任した佐賀県の人たちもいました!

1871(明治4)年の廃藩置県後、地方行政が始まり、中央政府から任命された県令・権令(現在の県知事)が各地に派遣されました。

- 秋田県** **島義勇**  
任期/1871(明治4)年～  
1872(明治5)年6月24日
- 栃木県** **鍋島幹**  
任期/1871(明治4)年～  
1880(明治13)年10月29日
- 三重県** **岩村定高**  
任期/1876(明治9)年4月18日～  
1884(明治17)年7月10日
- 沖縄県** **鍋島直彬**  
任期/1879(明治12)年4月4日～  
1881(明治14)年5月13日

首都を京都から東京に移すことを提案した大木喬任は、1868(明治元)年、2代目の東京府知事(現在の東京都知事)に就任。

調べてみよう!



佐賀県の初代県令に就任したのは誰だろう。

### □佐賀戦争(佐賀の乱)から佐賀県の再置へ



(佐賀県立博物館 蔵)

#### 佐賀県逆動聞 佐賀戦争(佐賀の乱)の様子を描いた錦絵

1874(明治7)年、元武士である士族たちの明治政府への不満が高まり「佐賀戦争(佐賀の乱)」が起こりました。その首謀者とされたのが江藤新平と島義勇ですが、彼らは当初、不満が高まっていた士族を説得し、騒動を治めることを目的に佐賀に帰郷したと考えられています。しかし、郷土防衛のため決起した佐賀の士族らに、江藤と島は首領に担ぎ上げられたと言われています。その後、1877(明治10)年の西南戦争に至るまで、九州や山口などで、それぞれの地域の様々な背景を抱えた士族の反乱が続きました。

詳しくは「佐賀幕末維新ポータル-志-」(P13)を見てみましょう。



佐賀戦争ページへのリンク

第1章 佐賀県の概要

第2章 佐賀県の歴史

第3章 佐賀県の人物

第4章 佐賀県の文化

第5章 佐賀県の自然

第6章 佐賀県の産業

第7章 佐賀県の食文化



佐賀城の鯨の門には、佐賀戦争(佐賀の乱)の激しい戦いによる、銃弾の跡が残っています。

調べてみよう!

この後、各地では、どのような経緯で士族の反乱が起こったのだろう。



- 1871(明治4)年 廃藩置県
- 1871(明治4)年 伊万里県(現在の佐賀県の範囲と現在の長崎県対馬を合わせたもの)設置
- 1872(明治5)年 佐賀県(現在とほぼ同範囲)設置 佐賀県の誕生
- 1874(明治7)年 佐賀戦争(佐賀の乱)
- 1876(明治9)年4月18日 三潞県(現在の福岡県久留米市などに編入 佐賀県が廃止)
- 1876(明治9)年8月21日 三潞県のうち旧佐賀県の領域が長崎県に編入
- 1882(明治15)年 原口良輔(佐賀米商会所初代理事長)らによる復県の運動
- 1883(明治16)年 佐賀県が復活

佐賀県の誕生から廃止・復活までの歩み



(佐賀県教育委員会『佐賀県の人物と遺跡』より)

1887(明治20)年に建設された旧県庁舎

### 明治の近代建築をリードした辰野金吾と曾禰達蔵



耐恒寮の跡地に建立された記念碑

耐恒寮は、唐津藩が設立した英語学校で、当初は、現在の唐津市大名小路にありました。その後、旧唐津城二の丸に移転されます。耐恒寮には、のちに総理大臣となった高橋是清が英語教師として赴任しました。

(吉田喜美明氏 提供)



辰野金吾

曾禰達蔵

(多久市郷土資料館 蔵『旧工部大学校史料』所収)

工部省工学寮(現在の東京大学)第一期卒業生

唐津藩出身の辰野金吾と曾禰達蔵は、耐恒寮で学んだ後、工部省工学寮の第一期生として入学し、イギリス人建築家ジョサイア・コンドルから建築を学びました。

### 辰野金吾が設計した武雄温泉楼門と東京駅につながりを発見!

2013(平成25)年、武雄温泉楼門の2階天井で発見された「子、卯、午、酉」の彫り絵。



(武雄温泉株式会社 提供)



(武雄温泉株式会社 提供)

武雄温泉楼門

西洋建築の辰野設計では珍しい、まるで竜宮城のような、真っ赤な朱塗りの武雄温泉楼門。



(川副義敦氏 提供)



(川副義敦氏 提供)

東京駅の八角形のドーム天井に飾られた8つの干支

武雄温泉楼門の4つの動物と、東京駅にある8つの動物を合わせると十二支になることが分かりました。



(PIXTA 提供)

辰野金吾が設計した東京駅

調べてみよう!

二人が設計した建築物を調べて、見くらべてみよう



### 見どころスポット

辰野金吾が設計監修した旧唐津銀行「辰野金吾記念館」

住所: 唐津市本町 1513-15  
電話: 0955-70-1717  
開館時間: 9時~18時  
休館: 12月29日~12月31日  
料金: 無料



## 日本の近代化を支えた石炭産業

### 石炭を産出していた地域



〔石炭産業の史的展開〕を参考に作成

### 1930(昭和5)年に行われた杵島炭礦会社(杵島郡大町町)の運動会

1929(昭和4)年に杵島炭礦が設立。各地から労働者が集まり、1941(昭和16)年の大町町の人口は2万4000人の最盛期を迎えました。



(大町町公民館 提供)

### 住ノ江港での石炭積み込み作業

杵島炭鉱の発展にあわせて、石炭の積出港として栄えた住ノ江港(現在の小城市及び白石町)。



〔佐賀県史 下巻〕より

調べてみよう!

当時県内で産出された石炭は、どのように活用されていたのだろうか。



石炭は、幕末から昭和時代中期まで、日本経済を支える大切なエネルギー源でした。特に唐津地方は石炭の宝庫で、幕末から明治時代の初期にかけては出炭量が日本一でした。

### 世界遺産・三重津海軍所跡(佐賀市諸富町・川副町)から出土した石炭



(佐賀市三重津世界遺産課 蔵)

蒸気船の燃料として使用された石炭。ほとんどが10～15cmほどに砕かれ、大きな塊から蒸気船のボイラーに入るサイズに加工されていました。

### ボタ山(大町町)



(大町町公民館 提供)

### 杵島炭礦会社の第三坑ボタ山

炭鉱で採掘した石炭を選別し、商品にならない石炭や岩石を積み上げた山。ボタ山が並ぶ様子は、炭鉱のかつての象徴でした。

### 世界遺産・高島炭坑(長崎県)の開発には佐賀藩が関わっていた!

長崎半島の西沖合に位置する高島(現在の長崎市)を治めていた佐賀藩は、1868(慶応4)年、トーマス・グラバーと共同経営を開始。蒸気機関を利用した近代的な炭坑の始まりでした。